

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	地図	種目	地図
----	----	----	----

発行者略称	東書	教科書名	新しい地図帳
-------	----	------	--------

所	見
1	<p><b>学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の目標や内容を踏まえ、地図や資料が効果的に提示されている。地図は複数配置され、広い視野から国土が見渡せるように配慮されているとともに、日本の位置及び範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて理解できるようになっている。</li> <li>・日本の歴史や文化、伝統に関する内容を充実させ、理解が深まるように配慮されている。</li> <li>・基本的な地図指導の内容や地球儀の活用のしかたなどがわかりやすく示され、学年の発達段階に応じて活用できるように配慮されている。</li> </ul> <p><b>2 内容について</b></p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図帳の使い方」では、「広く見る地図」「地方別に見る地図」「くわしく見る地図」とそれぞれの地図の特性を生かした資料の読み取り方を示し、地図帳を読み取る技能が身につくように配慮されている。</li> <li>・「都道府県の区分」では、地方ごとに色分けがされていて、まとまりとして都道府県を把握できるように配慮されている。</li> </ul> <p>〈思考力・判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「日本の自然災害」で過去の災害や災害に備える取り組みをのせ、社会的事象についての思考力・判断力が育てられるようになっている。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しをもとに、地図などの着眼点やヒントなどが示され、児童が自ら気づき考えられるようにしている。</li> <li>・主題図のページを設け、主題図を大きく表し、児童が主体的に活用できるようにしている。</li> </ul> <p>〈地図・資料の特徴〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4版を生かして、広い範囲を掲載している。</li> <li>・中部地方では、北陸3県の福井、石川、富山県を改めて1ページに掲載し、つながりを考えられるようにしている。また、新潟県全体を改めて1ページに掲載している。</li> <li>・「ユーラシア・北極」では、北極を中心とした表現で、世界の位置関係をつかむことができる。</li> <li>・「空から首都東京をながめてみよう」は3ページを使って鳥瞰図で表し、社会科見学等にも役立つような情報も掲載され、児童の関心意欲を高めるような工夫がされている。</li> </ul> <p><b>3 資料について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の自然・気候」のページでは、地図とグラフがわかりやすく配置され、日本の気候の特色をわかりやすく表現している。</li> <li>・さくいんは、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、発達の段階に応じた指導ができるように2色で色分けされている。</li> <li>・統計資料は、日本の各都道府県と世界のおもな国で示され、地方や地域別に色分けされている。</li> <li>・日本の産業では、農業、水産業、工業、電力について、分布図や写真を多く掲載し学習に役立つようにしている。</li> </ul> <p><b>4 表記・表現について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4版を生かして広い範囲を掲載している。</li> <li>・土地の高さは、陸が5～10段階、海が3～7段階で色分けされ、都市図は土地利用の様子が8色で表現されている。</li> <li>・地図の周囲に入れる写真や主題図を精選し、集中して地図が活用できるようにしている。</li> </ul> <p><b>5 全体的な特徴、その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4版にすることで広い範囲を掲載し、広く見渡せるようにしている。また、地図の周囲に配置する主題図等を少なくして、地図の読み取りに集中できるようにしている。</li> <li>・巻頭の「地図帳の使い方」で、地図記号、包囲、縮尺、地形表現、土地利用などの基本的な地図の読み方を丁寧に説明し、発達段階に応じた指導ができるようにしている。</li> <li>・地図は、日本列島を見渡す地図、地方図、都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図と系列的に配置されている。また、後半の資料のページでは、自然環境、歴史、世界との結びつき、各種統計、防災等がわかりやすくまとめられている。</li> </ul>

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	地図
----	----

種目	地図
----	----

発行者略称	帝国
-------	----

教科書名	小学生の地図帳
------	---------

## 所 見

### 1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・学習指導要領の目標や内容を踏まえ、地図や資料等が効果的に提示されている。特に主題図や鳥瞰図が多く掲載され、各学年の発達段階に応じて学習を進める上で有効な資料となる。
- ・領土・領空・領海の概念について写真と解説があり、日本の領域が理解できるように配慮されている。また、日本でおこりうる災害を例示し、防災と自らの行動について考えられるようになっている。
- ・基本的な地図の見方や地図帳の使い方、地球儀の活用のしかたがわかりやすく示されている。

### 2 内容について

#### 〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉

- ・「地図帳の使い方」では、地図記号、方位、縮尺、地形表現、土地利用など、基礎的・基本的な内容が示され、習得がしやすいように配慮されている。
- ・「日本の都道府県」では、都道府県の名称や位置を特色ある自然や歴史・文化、産業等でイメージしながら理解できるようにしている。

#### 〈思考力・判断力、表現力等を育成する工夫〉

- ・統計等の情報量が多く、児童が社会的事象を関連づけて多面的に考えることができるように工夫している。
- ・「地震・火山の災害と防災」では、防災マップづくりの手順が示され、防災マップづくりをとおして災害を自分のこととして考え、行動に結びつけることができるように配慮されている。

#### 〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉

- ・「地図帳の使い方」のチャレンジ問題やキャラクターの吹き出しの課題の投げかけなどをおして、主体的に調べられるようにしている。
- ・主題図や写真を多く掲載し、各学年の学習内容に応じて自ら調べ学習できるように配慮されている。

#### 〈地図・資料の特徴〉

- ・基本の地図を400万分の1、地方図を100万分の1の縮尺で表し、統計等も最新のものをを用いている。
- ・「日本列島」の地図では6ページを使い、北海道から西南諸島まで一望できるようにしている。また、南西諸島を扱う3ページでは東京から南西諸島までを範囲とし、距離を実感できるようにしている。
- ・世界地図は、縮尺を4000分の1で表し、視点を赤道に統一するとともに地球上での位置図を掲載し、大きさや位置関係をわかりやすく示している。

### 3 資料について

- ・地方ごとの地図や都市図には、鳥瞰図や絵地図、写真等を多く掲載している。
- ・全ての市町村及び合併前の市町村の名前を掲載し、地域学習などで活用できるようにしている。
- ・さくいんにも「〇〇市、〇〇町、〇〇村」という表現で全市町村名を掲載している。

### 4 表記・表現について

- ・100万分の1の地図は、土地利用を中心とした表現で4～5色で表現し、陸の高さ、海の深さは1～7段階で色分けされている。また、山が浮き立つ陰影表現で明るくわかりやすい印刷である。
- ・「さくいん」の「〇〇町、〇〇村」の読み方は、「まち・ちょう」、「むら・そん」と正確に記している。
- ・地図の周囲に、鳥瞰図や主題図、写真、イラスト等が効果的に配置されている。
- ・インデックスをつけ、調べたいページがすぐに見つけられるようにしている。

### 5 全体的な特徴、その他

- ・「地図のなりたちとよくそくごと」や「地図帳の使い方」で地図についての基本的な内容が示され、発達段階に応じた活用ができるようになっている。
- ・地図のページには、学習に関連する主題図や鳥瞰図、イラスト、写真、用語の解説などの資料が多数配置され、多面的、多角的な見方ができるようにしている。
- ・資料のページでは、自然環境や産業、歴史、世界との結びつき、統計、防災等がわかりやすくまとめられている。